

決 議

平成16年12月10日

自由民主党 北朝鮮による拉致問題対策本部

先の実務者会議において、北朝鮮側から横田めぐみさんのものとして提出された遺骨は、わが国捜査機関の鑑定により全く別人のものであることが判明した。

このことは、わが国が重ねて求めてきた安否不明者の調査に対する北朝鮮側の不誠実さを如実に示すものであり、わが国を愚弄する断じて許しがたい行為である。当然、わが国は残された「人道支援」を直ちに凍結すべきである。

これまで、わが党は、既に経済制裁のシミュレーションを発表し、北朝鮮側の不誠実な姿勢が明らかになった場合には経済制裁を決断すべきであると考えてきた。われわれは、今こそ「拉致問題の解決なくして、国交正常化なし」との原則を確認し、

(1)「横田めぐみさんのご遺骨の鑑定結果」に対する明確な回答

(2)国際手配している辛光洙をはじめとする被疑者3人の早急な身柄引渡し

以上2点、期日を設け最後通告として北朝鮮側に回答を迫ることを政府に対し強く求める。

今後、期限以内に回答がない場合、あるいはわれわれが納得できない回答があった場合には、即刻、経済制裁の発動を決断すべきである。